

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Kきっずしもだい

公表日 2025年3月14日

利用児童数 2024年12月13日

回収数 10

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2	1	1	一般住宅を改築したものであり、施設として機能を十分に備えているのか少々疑問に思っています。	今後も活動内容によってみぶの園庭や講堂の利用をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	2		2	生活空間の配置図等を示して欲しいです。	ホームページにて掲載していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8		1	1		環境整備を行い、活動しやすい空間を作っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2				児童館や図書館の利用頻度を増やしていきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3			研修会の開催をして欲しいです。	どのような研修会を希望されているかを調査した上で随時開催していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	3	2			親子参加型イベントを開催し、保護者様同士の交流の場を提供していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	3			ホームページにて事業所評価を分かりやすく公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	1	マニュアルを示して欲しいです。	避難訓練実施後にはコノベルメッセージにてご報告をし、マニュアルについてはホームページにて掲載しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	3			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	3			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10			我が子にとって安心できる居場所になっています。	今後も居心地の良い居場所としてのサービスを提供していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10			利用日にスタッフさんやご利用のお子さんに会えるのを楽しみにしています。	通所したいと思えるような活動プログラムを今後も考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1		事業所のおかげで我が子が安定した生活を送れています。	今後もお子様の将来を見据えた支援をしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Kきっずしもだい				公表日	2025年 3月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員超えの際は狭いと感じる場合があるが、状況に応じてみぶの園庭や講堂、児童館を利用しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			送迎時間帯の人手不足等は送迎時間をずらす等して調整していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			活動スペースと学習スペースの区別をつける工夫をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		臨機応変に相談室やロッカーの部屋等を使用して個別対応が可能となっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎朝の振り返りやケア会議の実施をして職員全員が参加しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表をもとに事業所の改善点を見つけ、修正をしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務会議等で職員の意見交換を行っており、イベント内容や支援の方針を決めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	内部からの意見を取り入れています。	実施しておりません。契約時の重要事項説明書に記載しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回は必ず事業所の代表が参加する研修や職員全員が参加する研修があり、参加しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて5領域に沿った支援プログラムを掲載しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケア会議や毎朝の振り返り時間を設けることで職員全員が共通理解を図れるようにしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケア会議を元に作成した個別支援計画書は閲覧することで全職員が確認する仕組みになっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			より細かな部分までアセスメントを行えるようにしていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		朝礼時に当日の動きを全職員で確認して、活動内容も全員で考えています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			園庭や講堂の頻度が多いので、バランスよく室内でできる集団活動も取り入れていきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		自由時間の個別活動と帰りの会やみぶの園庭活動などの集団活動など、状況に応じて対応しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日の振り返りを活かして、当日の支援方法を確認しています。支援中も都度職員間で連携をとって臨機応変に対応しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日の朝に振り返りを行っています。当日の内に共有すべきことは、メモに残す等をして報告をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		コノベルにて支援内容を記載しており、翌日の振り返り時に提示することで支援の検証や改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		決まった期間でモニタリングを実施し、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		状況に応じて利用児の気持ち、考えを聞いたり、クールダウンの方法を子どもたちが決めることもあります。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本は児童発達管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関として近くの医療機関と連携をしています。	重度の利用児や未就学児がいないこともあり、医療や保育との繋がりは薄くなっています。緊急時に対応できるような体制を常に整えておきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎の関係でお迎え時間が遅れる場合は事前に連絡を入れて対応をお願いしています。急な遅れが生じる場合も都度連絡を取り合っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			学校を卒業して障害福祉サービス事業所に移行した前例がありません。移行する際の流れ等の方法を共有していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		事業所の代表が月1回の連携会議に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童館や図書館を利用しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		町の自立支援協議会は存在しないが、社会福祉協議会とのつながりは持っており、協議会には参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		モニタリング以外では送迎時等に利用児の様子やご家庭での様子を共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			実施できておりません。希望者に対して随時開催していきます。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的なモニタリングを行い、ご家族様の意向を確認させていただいております。その他、何かあった際は都度ご連絡を取っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者様参加型のイベントを開催し、保護者様同士の交流を図る機会を設けていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	広報を通じて普段の様子やイベントの様子等を発信しています。	ホームページの構成を見直して、活動内容以外（緊急時対応等）についても掲載していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	就業時は必ず鍵付きロッカーに入れて保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	避難訓練の実施、コノベル連絡帳での実施報告をしています。避難確保経路の周知をしています。	マニュアルをホームページに掲載して保護者様へ周知してきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	半年に2回避難確保計画の見直しを行い、避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	契約時にお預かりしているお薬情報やアレルギー調査票を元に確認しています。服薬の変更があった際は職員間で共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現在、食物アレルギーのある利用児はいません。医師の指示書に基づく対応が常にできるような体制をとっていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ヒヤリハットがあった際は必ず振り返り時に職員間で共有し、今後の対策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	虐待防止委員会を設置し、研修への参加や事業所内でセルフチェックシートを用いて虐待を防止しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	契約時に保護者様へご説明をしています。虐待防止研修時に身体拘束についても学んでいます。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kきっずしもだい			
○保護者評価実施期間	R6年11月12日		～	R6年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	R6年11月12日		～	R7年2月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが通所するのを楽しみにしており、安心する居場所としてサービスを提供できている。	毎朝職員同士で前日の利用児たちの様子を振り返る時間を設けており、必要に応じてその場で支援方法の見直しと情報共有を図り、常に職員が同じ視点から支援に当たれるようにしている。子どもの目線にたって職員も一緒に楽しんで活動に参加している。	下校時間の早い日や学校休業日の児童館や図書館の利用頻度を増やし、地域の子どもと接する機会をより多く設ける。また、同法人内の様々な事業所と合同のイベントを開催し、自事業所以外の子どもと関われる機会を増やす。
2	子どもの特性を理解した上での支援プログラムを作成し、活動プログラムが充実している。	毎月のケア会議の実施と個別支援計画に沿った支援プログラム(課題等も含む)を職員間で意見を出し合って作成している。毎月の業務会議の中でイベント内容や長期休暇に行う活動プログラムについての意見交換を行い、利用児たちの実態に沿ったプログラムを決定している。	職員が外部研修への参加や内部研修に参加することで、障害特性の知識を更に身につけ、支援プログラム作成時に活かす。支援中の子どもとの会話や簡単なアンケートの実施を通し、需要のあるイベントや活動プログラムを把握して取り入れていく。

3	子どもの状況を保護者と共有し、健康や発達の状況について共通理解ができている。	連絡帳アプリ（コノベル）を活用して事業所での様子をお伝えし、ご自宅への送迎時にも気になることは直接お伝えすることで常にお子様の状況を共有している。半年に1回のモニタリングを実施することで、お子様の健康や発達についての共通理解を図っている。	送迎時も含め、直接お会いできない保護者様には電話やメールでご連絡を差し上げ、できる限りの情報共有をしていく。また、事業所に来所していただける様なら、直接お会いして子どもの状況をお話する、お聞きする機会を設ける。
---	--	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様との関わる機会の場の提供	家族支援としての研修会や親子参加型イベントの未実施によって、保護者様との交流の場の提供が不足している。	保護者様が求めている研修内容を調査して把握した上で研修会を随時開催し、親子参加型イベント実施等により保護者様との交流を深めていく。また、保護者様同士の交流の場としても提供をしていく。
2	保護者様と事業所との緊急時対応の共有	マニュアルを基本とした避難訓練等の実施をしているが、マニュアル内容の周知ができておらず、尚且つ避難訓練の細かな実施内容の報告等、情報提供が図れていない。	コノベルにて避難訓練実施内容を保護者様へ報告、緊急時の避難開始合図のテストメール実施等で事業所での取り組みを共有する機会を設ける。ホームページで防災マニュアルや避難経路の提示、避難訓練の様子（写真等）を掲載していく。
3	活動に合ったスペースの確保と子どもたちの特性にあった生活空間の提供	利用人数に対しての活動スペースの狭さ、子どもの特性に応じた生活空間作り（バリアフリー）がされていない。施設内の生活空間の共有がされていない。	活動内容に合わせた場所を選択（みぶ園庭や講堂）し、子ども達がのびのびと活動できるスペースを確保していく。事業所内の配置図や活動スペースの写真等をホームページに掲載し、生活空間を可視化していくことで保護者様への共有を図る。